

めくるめく

輝かしいミュージカルナンバーを

一気堪能する最高のショータイム。

歌に踊りに、これぞまさに

エンターテイメント!!

MUSICAL ミュージカル ミュージカル!! MUSICAL

と き 2023年10月21日(土), 22日(日)

開演 14:00 開場 13:30

青海波 海に見える劇場 なみのりてい 波乗亭 〒656-1723 兵庫県淡路市野島大川70

●問い合わせ 0799-70-9020 (10-18時 木曜定休)

MUSICALMUSICAL!! Number

No.1 『フォッシー』より「Sing, Sing, Sing」 1999年

ジャズの名曲「Sing, Sing, Sing」は、作曲家ベニー・グッドマンによるもの。
伝説的な振付師であるボブ・フォッシーによるレビュー形式のミュージカルにて使用された。
多くの映画やCMで使用され、ジャズの魅力を伝える代表曲として多くの人々に愛されています。

No.2 『マイフェアレディ』より「踊り明かそう」 1964年

作曲はフレデリック・ロウ、歌詞はアラン・ジェイ・ラーナー。この曲はミュージカルのヒロイン、
イライザ・ドゥーリトルによって歌われ、彼女の家庭教師、
ヘンリー・ヒギンズとの即興ダンスの後の興奮を表現している。

No.3 『雨に唄えば』より「雨に唄えば」 1952年

作曲はナシオ・ハーブ・ブラウン、歌詞はアーサー・フリード。
この曲はミュージカルの主人公、ドン・ロックウッドによって歌われ、新しい恋に目覚めた彼の喜びと興奮を表現している。
雨の中でのダンスシーンは、映画史上でも最も有名なシーンの一つとされている。
ドンは雨に濡れながらも、その喜びを全身で表現する。

No.4 『サウンド・オブ・ミュージック』より「My Favorite Things」 1959年

作曲はリチャード・ロジャース、歌詞はオスカー・ハマースタインII世。
主人公マリアが子供たちに歌うこの歌は、
マリアが好きなものや幸せを感じる瞬間を歌詞にのせて歌い上げるもので、聴く者の心を温かくします。
雨の日や悲しい時、彼女が思い出す「お気に入りのもの」を通じて、ポジティブな気持ちを伝える名曲です。

No.5,6 『ドリームガールズ』より 「DREAMGIRLS」「One Night Only」 1981年

1960年代のアメリカの音楽業界を背景に、3人の女性シンガーの夢と挑戦を描いた作品で作曲はヘンリー・クリーガー。
「Dream girls」は、彼女たちの絆と情熱、そして成功への道のりを表現しています。また「One night only」は、
一夜限りの愛を歌った情熱的なバラード。愛と別れ、そして再会の葛藤が胸を打ちます。

No.7 『アラジン』より「A Whole New World」 1992年

ディズニー映画『アラジン』の主題歌。アラジンとジャスミンが魔法の絨毯に乗って空を飛ぶシーンでのデュエット。
新しい世界の美しさと魅力、そして未知の冒険を歌っています。
この曲は、新しい世界を発見する喜びと、愛する人との絆を感じさせる名曲です。

No.8 『美女と野獣』より「Beauty and the Beast」 1991年

ディズニー映画『美女と野獣』の中心となる愛のテーマソング。美女ベルと野
獣の愛を深く感じさせるバラード。この曲は、見た目の違いを超えた真の愛の力を伝え、多くの人々の心を捉えています。
歌詞は「Whole new world」をティム・ライス、「Beauty and the beast」をハワード・アッシュマンが担当。
作曲はともにアラン・メンケン。

No.9 『キャッツ』より「Memory」 1981年

アンドリュー・ロイド・ウェバーの代表作『キャッツ』からの名曲。
過去の栄光を懐かしむ猫、グリザベラが歌うこの曲は、彼女の過去の美しさと現在の孤独を感じさせる。
メロディの美しさと歌詞の深さが、多くの人々の心を捉えてやまない。歌詞はトレヴァー・ナン。

No.10 『オペラ座の怪人』より 「The Phantom of the Opera」 1986年

アンドリュー・ロイド・ウェバー作曲のもう1つの傑作、ミュージカル『オペラ座の怪人』の中心となる曲。
オペラ座の地下深くに住む怪人と、彼に心を奪われるクリスティーヌの情熱的なデュエットが展開されます。
怪人の切ない愛と彼の隠された過去、そしてクリスティーヌへの深い愛情がこの曲を通じて表現されています。
歌詞はチャールズ・ハート。

No.11,12 『ウエスト・サイド物語』より「America」「Mambo!」 1957年

伝説的な指揮者レナード・バーンスタイン作曲のミュージカル『ウエスト・サイド物語』は、
ニューヨークの街を舞台にした現代版ロミオとジュリエット。
歌詞はスティーブン・ソンドハイム。この「America」は、プエルトリコ出身の少女たちが、
新しい生活の場としてのアメリカと故郷プエルトリコの違いを
歌い上げる楽曲。「Mambo!」は、ジェット団とシャーク団、
二つのライバルギャングの間でのダンス対決を舞台上で繰り広げるエネルギッシュなナンバー。

No.13 『コーラスライン』より「One」 1975年

ミュージカル『コーラスライン』のフィナーレを飾るこの曲は、ダンサーたちの輝きと夢を追い求める情熱を歌っています。
彼らの努力と才能、そして舞台への愛が伝わる名曲です。作曲はマーヴィン・ハムリッシュ。

No.14 『マンマ・ミーア!』より「Dancing Queen」 1999年

スウェーデンの伝説的なポップグループABBAのヒット曲を元にしたミュージカル『マンマ・ミーア!』からの楽曲。
女性たちが過去の青春を回想しながら歌うこの曲は、楽しさと女性たちの友情を前面に出したポップなナンバー。

PERFORMER/STAFF

ボーカル



池野 千夏

兵庫県立宝塚北高等学校演劇科卒業。ダンスオペラーツ本科修了。ユニバーサルスタジオジャパンエンターテイナー出身。花博、食博、各ホテルでのミュージカルショーやフラッシュモブに出演。また、音楽劇「赤毛のアン」や佐渡裕プロディエスオペラ「ヘンゼルとグレーテル」にも出演。2017年にミュージカルライブを開催。2019年東京国際声楽コンクールミュージカル部門入選。2021年大阪国際音楽コンクール声楽部門ミュージカルコース 第3位。2022年 第59回 SMASHCABARET優勝。2023年東京国際管弦声楽コンクール入選。



金森 なつみ

三重県出身。大阪芸術大学舞台芸術学科ミュージカルコース卒業。おおさか学生演劇祭にて優秀主演女優賞受賞。現在関西を中心に役者として活動中。淡路島では地方創生エンターテイナーとして活動しており、数々の作品の主演を務める。主な出演作品/HELLOKITTY SHOWBOX 『Hello kitty jazz band show』ボーカル、音楽劇『プレーメンの音楽隊』主人公ハンス役、青海波 波乗亭 作・演出・振付謝珠江ミュージカル作品『淡路の月に誓う』松王丸役、『どういかなるさ〜神戸ジャズ物語〜』室田ハル役



山根 千緒里

大阪府吹田市出身。3歳よりクラシックバレエ、13歳より声楽やジャズダンスを始める。梅花女子大学在学中、梅花歌劇団「劇団この花」に所属し、謝珠栄先生演出のミュージカルに多々出演。2022年には「COCO-シヤネル翼をひろげた日-」で主役ココ・シヤネルを務める。2023年4月より淡路島にて地方創生エンターテイナーとして活動を始め、7.8月には「淡路の月に誓う」に出演。ダブルキャストとして常世丸役と松王丸役を務める。



藤崎 優二

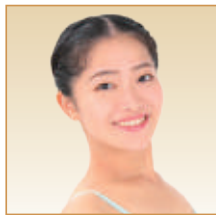
北海道札幌市出身。3歳よりピアノを始め、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。2018年新宿区民オペラにてヴェルディ作曲「ナブッコ」アブダッコ役で出演。2019年文京区民オペラにてヴェルディ作曲「椿姫」ガストン役で出演。今までにネッロサンティ氏、ファビオルイージ氏、小林研一郎氏、大友直人氏、ヴィートクレメンテ氏、リッカルド・ムーティエと共演。

ダンサー



音月 さつき

東京出身。クラシックバレエを軸に様々な種類のダンスや声楽を学び、フリーでミュージカル公演やショー・TVに出演。関西に拠点を移してからは、ハローキティショーボックスや波乗亭をメインにダンサー・役者として出演。2021年6月からは振付家としても活動を始め、現在シーズン10を迎える「HELLO KITTY JAZZ BAND SHOW」やミュージカル&オペラナイトなど、様々な作品の振付を担当。JAZZ、ミュージカル、和物など様々な種類に挑戦している。



木村 くるみ

大阪府岸和田市出身。4才からクラシックバレエを学び踊りに興味を持ち、歩きながら踊るほど常に踊っていた。その後大阪芸術大学舞台芸術学科ミュージカルコースに入学し、在学中には『青い鳥』より犬のチロー『ハムレット』オフィーリア『HAIRSPRAY』よりトレイシーとさまざまな役柄を演じた。現在は淡路島にて地方創生エンターテイナーとして活動中。『淡路七福神録』『どういかなるさ』『HELLO KITTY JAZZ BAND SHOW』『淡路の月に誓う』に出演。



川口 圭依

2歳からクラシックバレエを始め、小学生からバレエチャンプルウエストバレエメイツ(バレエ団子役)として、様々な公演に出演。2014年定期公演「くるみ割り人形」では主役クララ役を務める。全国バレエコンクールでの上位入賞経験あり。映画「妖怪シェアハウス〜白馬の王子様じゃない妖怪」ダンサー出演、振付アシスタント 世界のヴァイオリニスト古澤巖コンサートin群馬 バックダンサー出演、振付。



吉岡 舞彩

兵庫県出身。幼少期よりダンス・バレエ・ピアノを習い、宝塚北高等学校演劇科、大阪音楽大学短期大学部ミュージカルコースで、ダンス、歌、芝居を学ぶ。これまでに、キッズダンサーとしてイベントやライブに出演。また「赤毛のアン」やその他複数のファミリーミュージカルに出演し、経験を積んできた。現在はHELLO KITTY SHOW BOX「Hello kitty Jazz bund show」、海の舎「ミュージカル&オペラナイト」に出演中。



近藤 萌

大阪出身。2015年～2019年アイドルとして活動。持ち前の元気と笑顔を活かし、大阪城ホールやZepp Namba大阪、SUMMER - SONIC、沖縄国際映画祭など他、様々なステージにライブ出演。その他、ヴォーカルユニット「ベリーグッドマン」のバックダンサー、「骨髄移植キャンペーンミュージカル」並紀役、夏子役、ダンサー出演。現在は淡路島でエンターテイナーとして活動中。主にハローキティショーボックスでダンサーとして出演している。jazz、HIPHOP jazzを得意とする。

スタッフ

脚本/演出/構成 森口舞
演出助手 小栗稜
振付/ダンス指導 音月さつき/木村くるみ
舞台監督 小栗鉄矢
転換 瀬戸秀二郎

音響プランナー 榎原賢
音響オペレーター 湯逸捷
照明プランナー 中川仁美
照明オペレーター 尾田侑希奈
企画/制作 小栗稜